

# 12月6日古代衣裳を着用し本会議を開催



※本市議会のHPにおいて、当日の録画中継を見ることが出来ますので、ぜひアクセスしてください。

日本書紀に、「持統八年十二月の庚戌（つひのつゆ）の朔乙卯（694年12月6日）に藤原宮に遷都された。」との記述があります。藤原宮に遷都された月と同じ12月に、議場内にいる全員（傍聴者は除く）が古代衣裳を着用し、本会議を開催しました。

今回は古代衣裳に加え、議場には四本の旗を並べました。旗には、四神（青龍、白虎、朱雀、玄武）が描かれております。

28年9月に、藤原宮の発掘調査で、藤原宮では儀式の際、このような旗を立てていたと考えられる遺構が確認されました。

日本で最初の都城、藤原京が造営された本市の12月定例会にふさわしいと考え、奈良文化財研究所から三分の二の大きさで復元したこれらの旗をお借りし議場に設置しました。

橿原市議会

検索

<http://www.city.kashihara.nara.jp/gikai/gikai/>

橿原市議会のホームページをご覧ください



香具山は、畝傍山をいとしとして耳成山と相争った。神代からこうであるに違いない。いにしえもそうだったからこそ、今の世の人々も妻を取りあつて争うらしい。

中大兄皇子

万葉歌碑の場所

近隣公園（白檀町）

## 表紙紹介

香具山は、畝火雄々として  
耳梨と相あらそひき  
神代より、欺くにあるらし  
古昔も、然にあれこそ  
うつせも、嬌を  
あらそふらしき

議会だよりの表紙に万葉歌碑と風景をシリーズ掲載

橿原市内には、日本最古の歌集である万葉集の歌碑が多数点在しております。この万葉歌碑と歌碑に関連する眺めを議会だよりの表紙としてシリーズ掲載しています。



この広報誌は再生紙を使用しています。